ひとりにしない、ひとりでしない。

- こうべ地域福祉ネットワーク事業 -



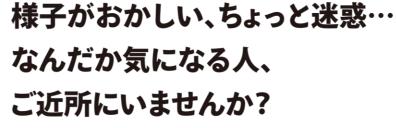
すでにある制度や福祉サービスでは解決がむずかしい、 悩みや困りごとなどの福祉的な課題に、 地域や専門機関と共に取り組むのが こうべ地域福祉ネットワーク事業。 各区の社会福祉協議会にいる 地域福祉ネットワーカーが、ご相談に応じます。

福祉的な課題は、予防から。

地域福祉ネットワーカーとは?

ますます多様化する福祉的な課題を 専門職や地域で支え、「丸ごと」対応できるように、 新たなしくみやネットワークを構築。 思いやりを持ち、自然に声をかけあえる やさしい地域づくりを支援しています。

相談無料













\たとえば/

- ずっと閉じこもっているみたい
- ゴミが家の外まであふれてる
- ●あまりにも生活が苦しそう
- ●子どもが泣き続けている など…





おせっかいかも…なんて思わずに、 ひとりで抱え込まないで、 迷わずに相談してください。



ご相談の流れ

※状況や条件等によって、共に取り組む内容は変化します。

A 相談受付

- 窓口まで行くことができない場合は、
- 地域福祉ネットワーカー が訪問。電話でのご相談も OK!

B 状況確認

- ▼ さらに電話で話をお聞きしたり、
- 地域福祉ネットワーカー が訪問し、 実際の状況を確かめます。

🕦 地域や専門機関と連携

- ▼ ご相談内容に合わせて
- 解決に向けた対応策を検討し、
 - 一緒に取り組んでいきます。

→ 地域の取り組みを支援

- 地域のつながりを大切にしながら、こんなことがあったら楽しいな、「困った」から「よかった」へと変えていく仕組みや場づくり、仲間づくりをお手伝いします。
- 気づいたことや困りごとのご相談、お問い合わせは…

社会福祉法人 神戸市垂水区社会福祉協議会

住 所 神戸市垂水区日向1丁目5-1

垂水区役所内

電話 078-708-5151

Email info@tarumi-csw.or.ip

〈こういう場合〉は 迷わず、ご相談ください。

さまざまな問題は、時がたつと複雑になるもの。 困りごとのあるご本人やご家族はもちろん、 地域や近隣の方でもかまいません。

地域福祉ネットワーカーに、まずはお話しください。 解決に向かって共に考え、共に実行していきます。



相談時の課題

- ・父親が認知症に
- ・経済的に困窮
- ・仕事以外は無頓着

解決に向けた主な取り組み

- ・特別養護老人ホームに入所
- ・親子の世帯を分離
- ・支援の仕組みづくり

80代の父親と暮らすTさんは、親子で農業をいとなんでいました。父親に認 知症の症状が現れ、農作業と介護に追われるTさんが食べることや片付けなど も十分にできない中、父親が低体温症と意識障害で緊急入院。自宅はゴミの 山となり、害虫が大量に発生し、石油ストーブによる失火の恐れがあるなど 非常に危険な状態でした。

話を聞いていくうちに、収入が多い一方で支出の多さが目立ち、父親の年金 を農業に補てんするなど経済的に苦しいことも判明。この親子が自立した日 常生活を送れるように、仕事や介護関係者、民生委員、あんしんすこやかセ ンターなど関係機関が集まって、支援の内容や体制づくりに関する話し合い を行いました。

現在は、世帯を分離し、父親は特別養護老人ホームへの入所が決まって、お だやかに暮らしています。Tさんは父親の介護を施設に託せたことで農作業に 専念できるようになり、気持ちに余裕が生まれた様子。まだ自宅の片付けが 残っているものの、地域の見守りの目をつなぎ、親子が孤立しない仕組みを つくるきっかけとなりました。

60 代後半の単身男性)

(30代女性と中学生2

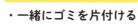




相談時の課題

- ・ゴミを分別できない
- ・ATM が使えない
- ・手助けを拒む

解決に向けた主な取り組み



- ・福祉サービスの利用を提案 ・住民と多職種の連携支援
- ゴミを分別せずに捨てたり、ATMでお金を引き出せなくて大声を出したり、 訪問すると怒鳴ったり…いくら注意しても効果がなく、自治会をはじめ、Yさ んの周囲の人々は困っていました。

一方、Yさんは「捨てると怒られる」ため、家中にゴミがたまって悪臭や害虫 が…。地域福祉ネットワーカーが区役所のワーカーと共に何度も訪問してお 話を聞くうちに、ずっと母親と暮らしていたYさんは家事やお金のやりくりを したことがなく、ゴミの分別も「わからなかった」だけだと判明しました。

まず、自治会や民生委員、区のまちづくり課など多数の関係機関と共に、Yさ んがごく普通に暮らせるように支援していくための会議を開催。協力しあっ て家中のゴミを片付け、ヘルパーや日常的金銭管理サービスの活用、介護保 険の申請などを提案しました。

その後は、自治会の方が毎日訪問することで、Yさんとの信頼関係を構築。民 生委員やヘルパーと協力しながら、現在も見守りは続いています。



相談時の課題

- ・子どもが不登校
- ・家の片付けができない
- ・体調がすぐれない

解決に向けた主な取り組み

- ・学習できる環境づくり
- ・家の片付け
- ・お母さんの居場所づくり

Aさんには中学生のお子さまが2人いて、1人で育てておられました。うつ病 を発症し、仕事をするのもむずかしい状況でした。兄は不登校、妹は遅刻し ながらも登校しているという状態。Aさんは体調がすぐれないため家事ができ ず、室内には衣類や物があふれていました。

地域福祉ネットワーカーが訪問を重ねて、まず生活状況を把握していきまし た。家のことも子どものことも、自分でなんとかしたい気持ちがあるものの 困難な状態でしたが、ひとつずつ現状を整理していくことで、まず何をする べきかを考えはじめることができるように。部屋をきれいにしたいという気 持ちも芽生え、Aさんと子どもたちとで少しずつ片付けるようになりました。

不登校だった兄はもともと学習意欲が高かったため、学習の機会を提供した ところ、改善に向かいはじめました。するとAさんは、兄が登校しはじめたこ とにより、自分と向き合う時間が持てるように。さらに、Aさんが好きなこと に取り組めるような居場所がないか関係機関に協力を求めたところ、ボラン ティア活動につながって、現在活動中です。



1人を支え、 地域の支援につなげる。

個人的な悩みごとだと思っていたけど、 実は地域全体に関わる問題だった…というのは、 それほどめずらしいことではありません。 1人ひとりを支えることから広がる、 地域ぐるみの支援のカタチをご紹介します。

だれもが集える居場所をつくる

寂しさや生きづらさを感じていたり、地域で孤立していたり、だれ かの役に立ちたい、つながりたいと思っていてもどうすればいいの かわからない、行動できない…という人のために、空き家や空き店 舗などを活用し、だれでも気軽に立ち寄れる居場所をつくって地域 の課題を解決していくのが、東灘ではじまった「えんがわプロジェ クト」。

子育て世代、シニア男性、ボランティア活動をしたい方、すでに地 域活動で活躍しておられる方などがサポーターとなり、できないこ とを助けたり、逆に助けられたり、ゆるやかに支え合う関係性を大 切にしています。

生きがいを実感してだれもが輝き、個性を認め、手をさしのべ合え る地域が増えたら、ステキです。今、お茶会や楽しいイベントを実 施したりするなど、地域の課題を解決するきっかけとなるみんなの 居場所があちこちに生まれています。

個人の課題

- ・学校に通いづらい
- ・働けない、仕事が続かない
- ・片付けられない
- ・認知症
- ・ひきこもり など

理想の姿=地域の未来

- ・気にかけてくれる人、助けてくれる人ができた
- ・友達ができた
- ・役割、生きがいができた
- ・自分を大切だと思う気持ちが生まれた
- ・仕事のトレーニングになっている など



くわしくは、 各区社会福祉協議会まで。